

今や、一人が一台のスマホを持ち、何か決定的な一瞬に出会えば、誰もがカメラマンになれます。また、街中にも駅に防犯カメラや監視カメラだらけで、ちょっと外出するだけで、一体自分は何台のカメラの被写体になったのだろうと少し恐ろしくもなります。また「ドラレコ」（ドラえもんの録画ではなくドライブレコーダーのこと）を搭載した自動車も多くなり、歩道を歩いているだけでも、何十台もの車のカメラに録画されているのでしよう。

私の自家用車（ミライース4WD）にも、車両の前後にドラレコを設置しています。本来ドラレコの設置は、事故が起きた時の状況把握や、迷惑運転（いわゆる「あおり運転」）の証拠を残すことが主な目的です。しかし、ドライブ中にはさまざまな「思いがけない出来事」にも遭遇するものです。珍しい大気光学現象、猛烈な豪雨、珍しいバスや路面電車などです。隕石落下の研究などは、ドラレコ映像が非常に役立つといえます。

私の場合、群馬県や長野県の山間部を走る機会が多いので、ドラレコに頻繁に野生動物が映ります。先日も北軽井沢の山荘のすぐ近くで、子ギツネが道に飛び出してきました。特に夜間はそういうことが多い道なので、いつも時速20~30kmぐらいで走っています。

(2024年7月上旬／北軽井沢)

